

『ボランティア学習研究』 投稿規程

1. 会員は研究紀要に論文、実践報告を投稿することができる。投稿を希望する会員は、設定された期日までに投稿申込を行うこととする。
2. 投稿原稿は未発表のものに限る。
3. 投稿原稿の分量は、論文については20,000字以内、実践報告については10,000字以内とする。図表、注、参考文献などを含む。図表については、原則として、1点を400字として換算する。複数会員が連名で投稿する場合も同じとする。上記文字数を超過する原稿は受理しない。
4. ワープロの設定は、A4判用紙を用い、1頁40字・40行程度を基本とする。図表は本文中に挿入せず、別紙に作成して、文字換算する。止むを得ず手書きとする場合は、A4判横書きの400字詰原稿用紙を用いる。
5. 原稿は、そのまま査読対象とするため、タイトルのみ記入し、最後に文字数を明記した上で、7部作成する。
 - (1) 引用文献記載に係る本文において「拙稿、拙著」などの表現をしない
 - (2) 応募者の先行研究における科研費番号等を記載しないなど、査読委員が応募者を特定できないよう注意を払う。これらの注意に欠ける場合は受理しないことがある。応募者の氏名・所属は別紙に記入して原稿に添付する。なお、40歳未満の会員の投稿論文はアレクディクソン賞(研究部門)の選考対象とするので、該当者は氏名などを記入した別紙に、生年月日を併記する。
6. 常用漢字・現代仮名づかいを原則とする。数字・アルファベットはひとマスに2字の割合(半角文字)で記入する。
7. 注記・引用文献は、一括して文末に注記番号順に記す。参考文献は、必要に応じ、注記・引用文献の後に記す。文献等の表記は、以下の要領に準ずることが望ましい。ただし、自著について、拙稿という表現は避けることとする。

鈴木一郎『中学校におけるボランティア学習』教育文化社、1995、pp5-6
山田花子「博物館とボランティア学習」、田中次郎編『博物館』教育文化社、1993、pp11-12
鈴木一郎「ボランティア学習のコーディネート」、『季刊教育文化』3巻1号、1994、pp25-29
8. 投稿原稿は、7部作成(うち6部はコピー可)し、設定された期日までに日本ボランティア学習協会紀要事務局へ提出しなければならない。
9. 原稿の採否は、編集委員会内規にしたがって決定する。応募原稿については返却しない。
10. 執筆者による校正は、原則として初校に限る。
11. インタビューやアンケート調査など、「人を対象とする研究」を用いて原稿を作成した応募者は、所属する大学・機関の倫理審査を受け、その結果を添付することが望ましい。大学院生の場合は、指導教員に相談する。所属する機関で倫理審査を行っていない場合は、協会事務局に相談する。

【※問い合わせ・申し込み先】

日本ボランティア学習協会 紀要事務局宛

〒243-0124 神奈川県厚木市森の里若宮 9-1

松蔭大学 経営文化学部 仲 伯維

TEL:046-247-1511 E-mail: birdyzh (@) shoin-u.ac.jp

* (@) を@に変えてお送りください。

URL: <http://www.volunteer-learning.jp/>